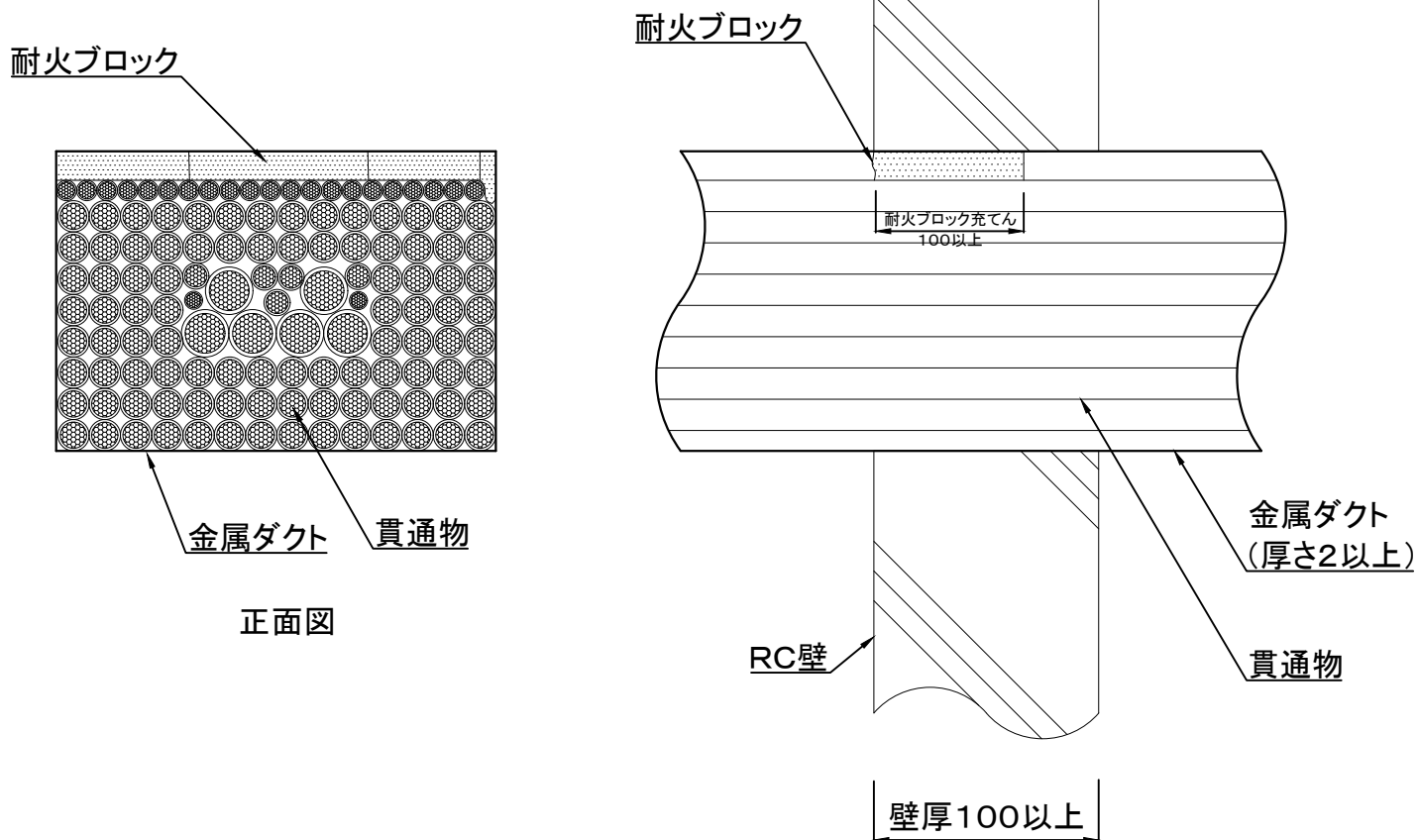
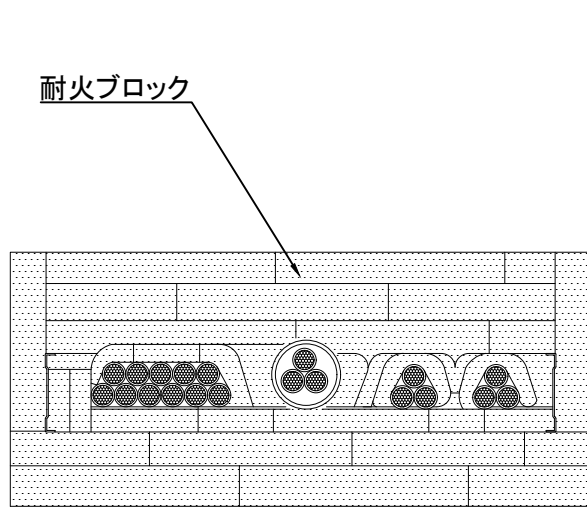
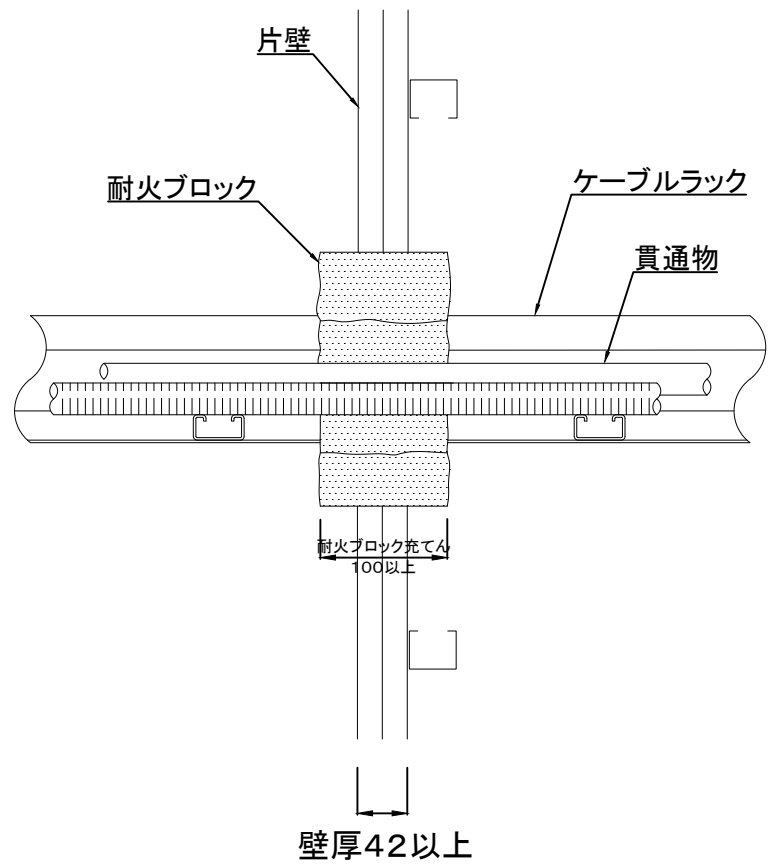




項目		仕様
国土交通大臣認定番号		PS060WL-0153
貫通する壁の構造等		RC壁 厚さ100以上 ※金属ダクト:厚さ2以上
開口部	形状(開口サイズ)	矩形(角穴)
	面積	0.6㎡以下
占積率		92.2%以下
貫通物	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)	325mm ² 以下(600V)
施工方法		1 貫通物の形状に合わせて耐火ブロックを充てんする。 2 小さな隙間には補助充填材を充てんし施工完了。

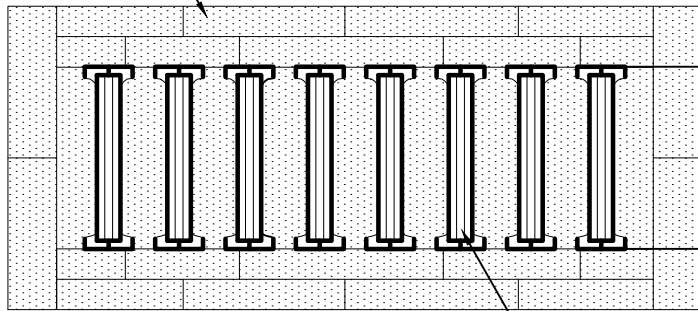


正面図



項目		仕様
国土交通大臣認定番号		PS060WL-0231
貫通する壁の構造等		片壁 厚さ42以上
開口部	形状	矩形(角穴)
	面積	0.6㎡以下
占積率		20%以下
貫通物	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)	325mm ² (6,600V)以下
	合成樹脂製可とう電線管	PF・CD28以下
施工方法		1 貫通物の形状に合わせて耐火ブロックを充てんする。 2 小さな隙間には補助充填材を充てんし施工完了。

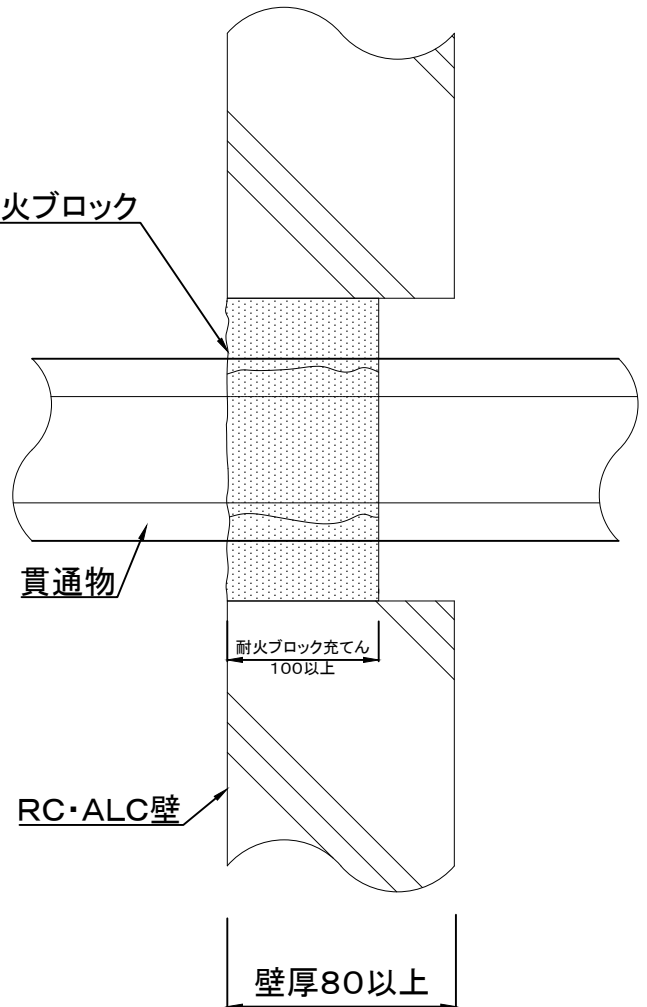
耐火ブロック



貫通物

正面図

耐火ブロック



貫通物

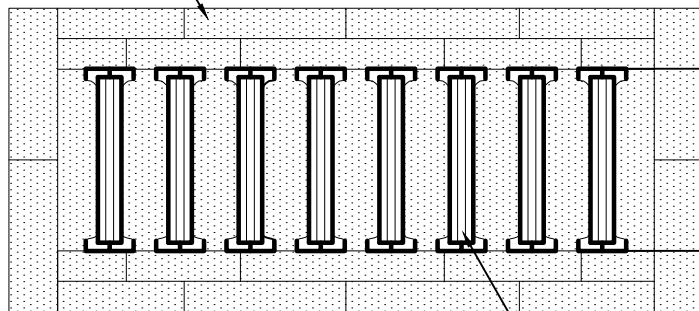
耐火ブロック充てん
100以上

RC・ALC壁

壁厚80以上

項目		仕様
国土交通大臣認定番号		PS060WL-0233
貫通する壁の構造等		RC・ALC壁、ECP壁
開口部	形状	矩形(角穴)
	面積	0.6㎡以下
占積率		22%以下
貫通物	バスダクト(1枚あたりの導体断面積)	3,000mm ² 以下
施工方法		1 貫通物の形状に合わせて耐火ブロックを充てんする。 2 小さな隙間には補助充填材を充てんし施工完了。

耐火ブロック

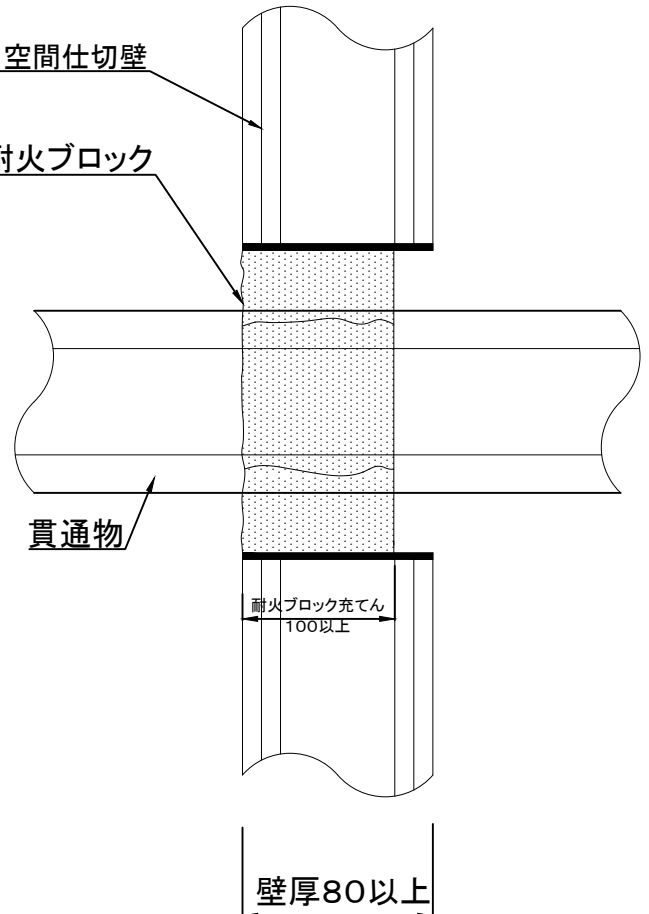


貫通物

正面図

中空間仕切壁

耐火ブロック

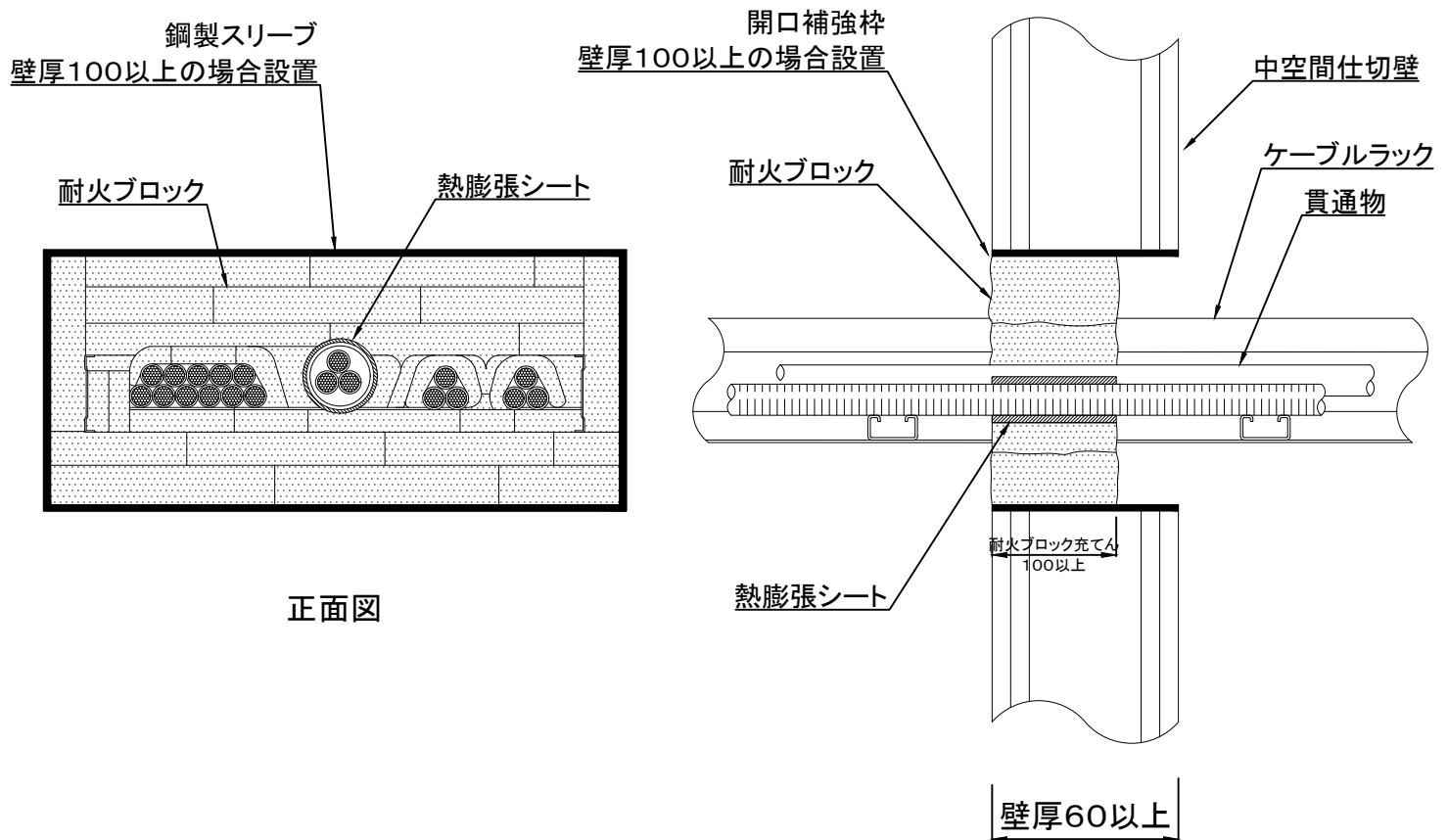


貫通物

耐火ブロック充てん
100以上

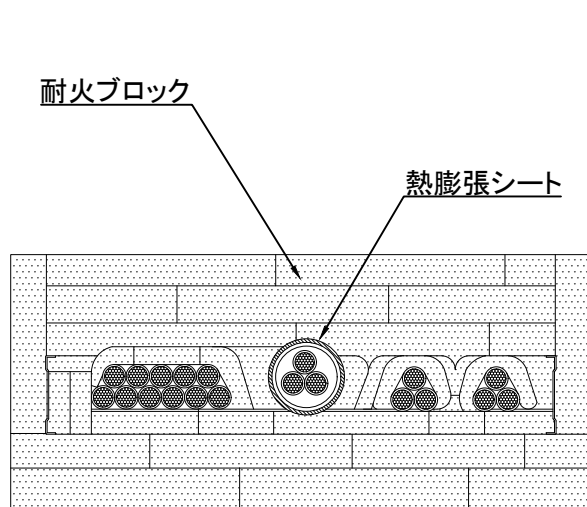
壁厚80以上

項目		仕様
国土交通大臣認定番号		PS060WL-0233
貫通する壁の構造等		中空間仕切壁(強化石膏ボードに限る) 厚さ80以上 ※要鋼製スリーブ設置
開口部	形状	矩形(角穴)
	面積	0.6㎡以下
占積率		22%以下
貫通物	バスダクト(1枚あたりの導体断面積)	3,000mm ² 以下
施工方法		1 鋼製スリーブを設置する。 2 貫通物の形状に合わせて耐火ブロックを充てんする。 3 小さな隙間には補助充填材を充てんし施工完了。

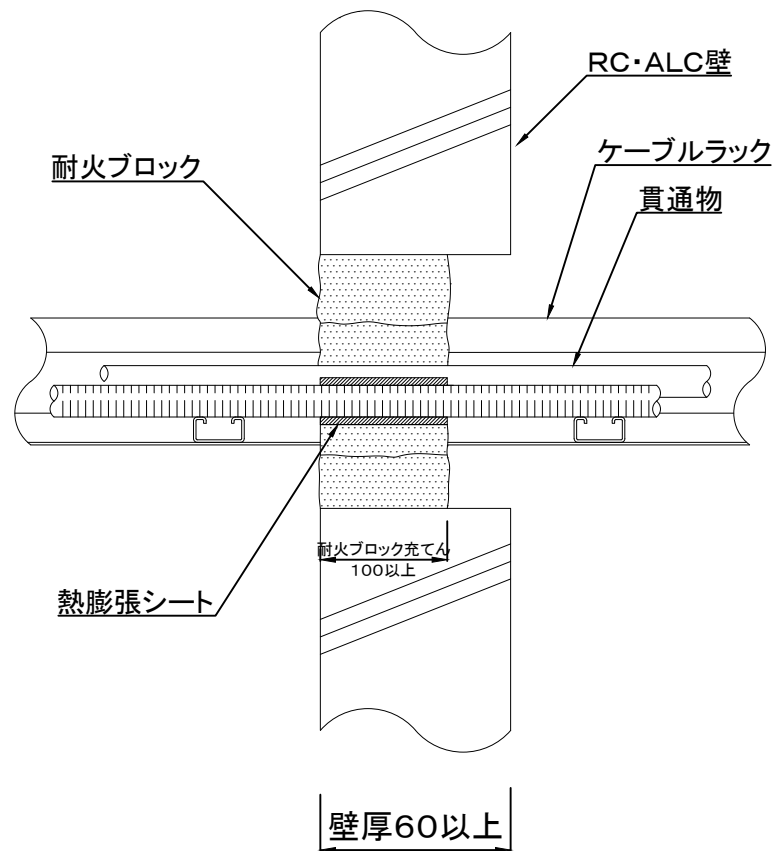


項目		仕様
国土交通大臣認定番号		PS060WL-0756
貫通する壁の構造等		中空間仕切壁、ECP壁 厚さ60以上 ※中空間仕切壁は壁厚100を超える場合、要開口補強枠設置
開口部	形状	矩形(角穴)
	面積	0.75㎡以下
占積率		38.4%以下
熱膨張シート		ロクマルシート
貫通物	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)	1,600mm ² (6,600V)以下
	鋼製電線管	呼び104以下(長さ150以上) 端部が露出する場合、熱膨張シートを1周以上巻き付け 壁:片側または両側、床:床上側
	合成樹脂製可とう電線管	PF・CD54以下 PF・CD28以下:耐火ブロックのみ PF・CD42以下:耐火ブロック+熱膨張シート1周以上 PF・CD54以下:耐火ブロック+熱膨張シート2周以上
	金属製可とう電線管(ビニル被覆あり又はなし)	呼び101以下(長さ150以上) 端部が露出する場合、熱膨張シートを1周以上巻き付け 壁:片側または両側、床:床上側
	波付硬質ポリエチレン管	FEP100以下 FEP40以下:熱膨張シート1周以上 FEP65以下:熱膨張シート2周以上 FEP100以下:熱膨張シート3周以上
施工方法		1 壁厚が100を超える場合、開口補強枠を設置する。 2 貫通物に熱膨張シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックが重なる位置に巻き付ける。 3 貫通物、熱膨張シートの形状に合わせて耐火ブロックを充てんする。 4 小さな隙間には補助充填材を充てんし施工完了。

単位:mm

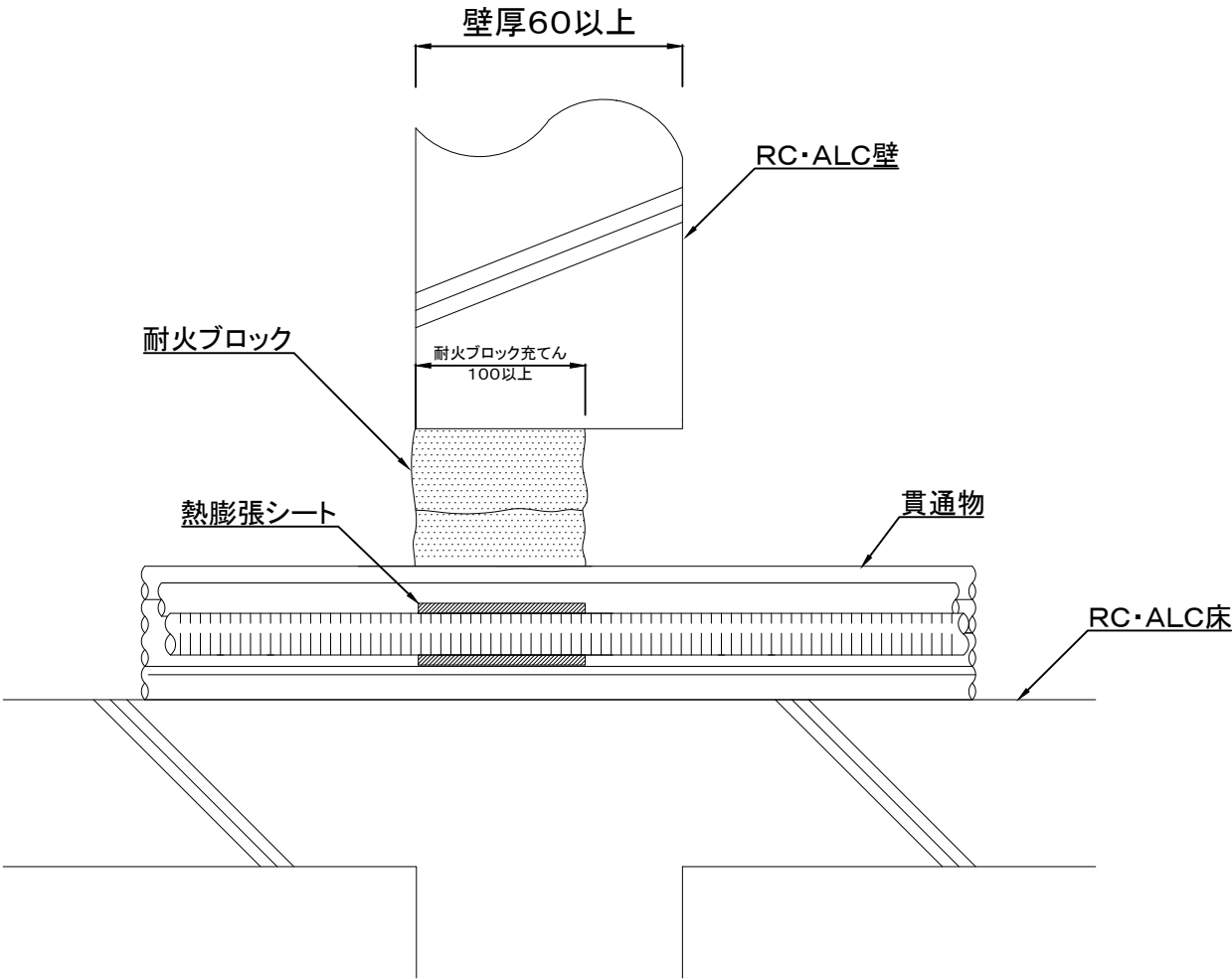


正面図



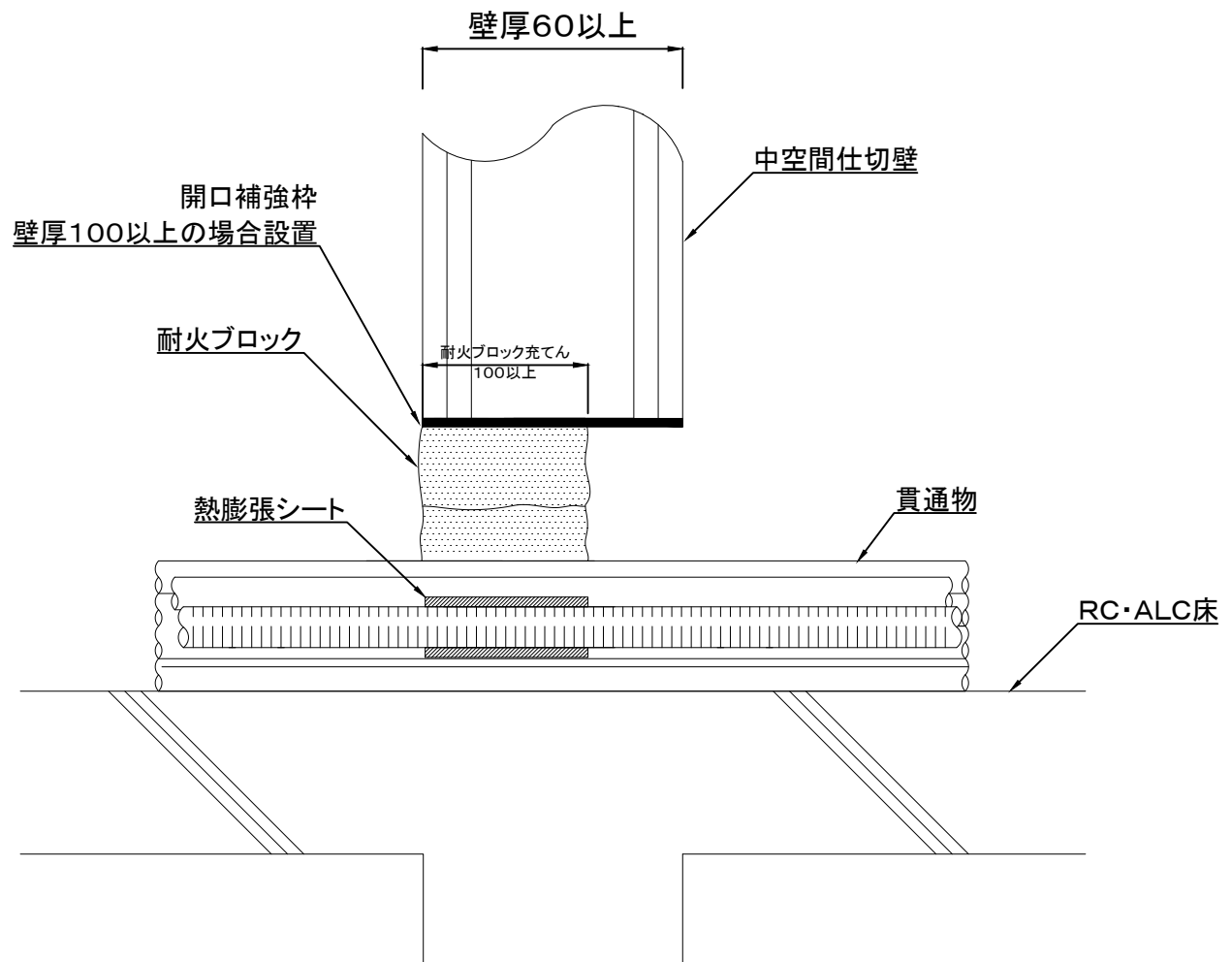
項目		仕様
国土交通大臣認定番号		PS060WL-0756
貫通する壁の構造等		RC・ALC壁 厚さ60以上
開口部	形状	矩形(角穴)
	面積	0.75㎡以下
占積率		38.4%以下
熱膨張シート		ロクマルシート
貫通物	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)	1,600mm ² (6,600V)以下
	鋼製電線管	呼び104以下(長さ150以上) 端部が露出する場合、熱膨張シートを1周以上巻き付け 壁:片側または両側、床:床上側
	合成樹脂製可とう電線管	PF・CD54以下 PF・CD28以下:耐火ブロックのみ PF・CD42以下:耐火ブロック+熱膨張シート1周以上 PF・CD54以下:耐火ブロック+熱膨張シート2周以上
	金属製可とう電線管(ビニル被覆あり又はなし)	呼び101以下(長さ150以上) 端部が露出する場合、熱膨張シートを1周以上巻き付け 壁:片側または両側、床:床上側
貫通物	波付硬質ポリエチレン管	FEP100以下 FEP40以下:熱膨張シート1周以上 FEP65以下:熱膨張シート2周以上 FEP100以下:熱膨張シート3周以上
施工方法		1 貫通物に熱膨張シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックが重なる位置に巻き付ける。 2 貫通物、熱膨張シートの形状に合わせて耐火ブロックを充てんする。 3 小さな隙間には補助充填材を充てんし施工完了。

単位:mm



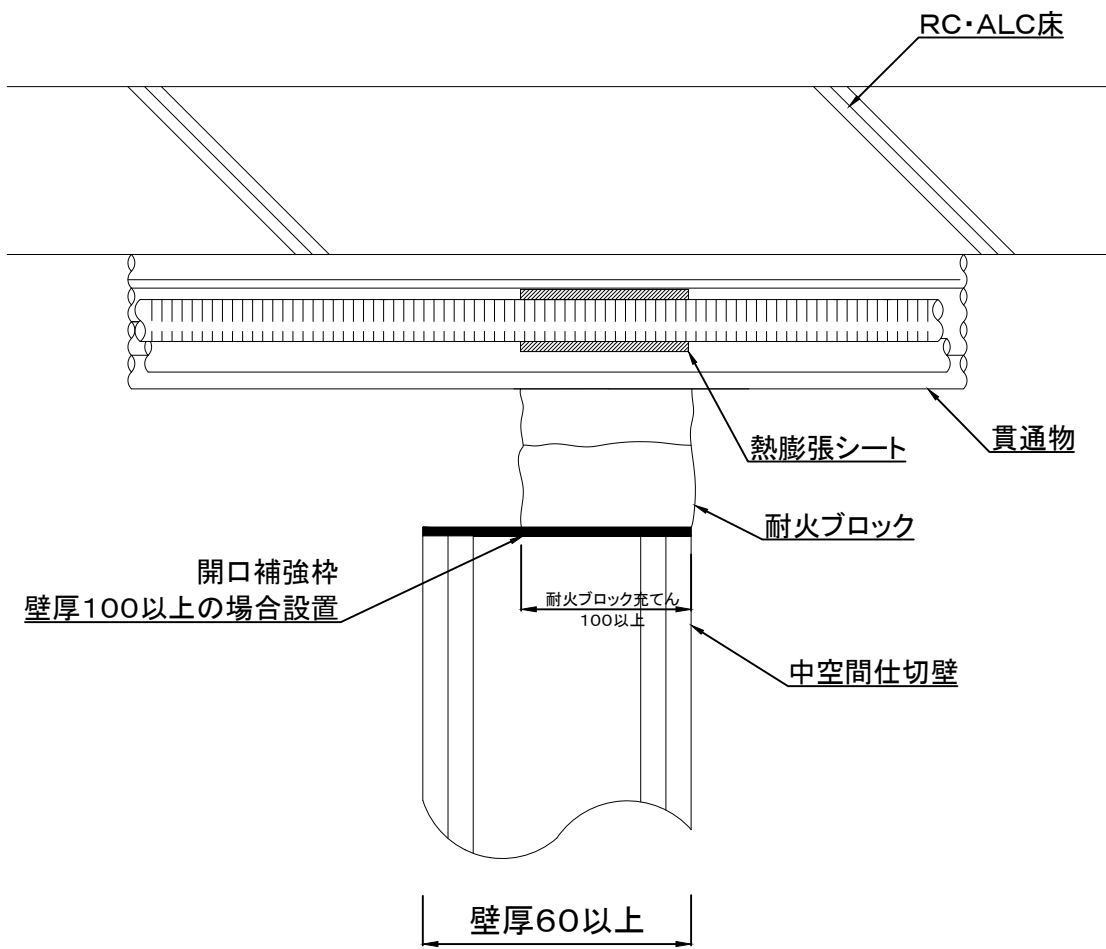
項目		仕様
国土交通大臣認定番号		PS060WL-0756
貫通する壁の構造等		RC・ALC壁 厚さ60以上
開口部	形状	矩形(角穴)
	面積	0.75㎡以下
占積率		38.4%以下
熱膨張シート		ロクマルシート
貫通物	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)	1,600mm ² (6,600V)以下
	鋼製電線管	呼び104以下(長さ150以上) 端部が露出する場合、熱膨張シートを1周以上巻き付け 壁:片側または両側、床:床上側
	合成樹脂製可とう電線管	PF・CD54以下 PF・CD28以下:耐火ブロックのみ PF・CD42以下:耐火ブロック+熱膨張シート1周以上 PF・CD54以下:耐火ブロック+熱膨張シート2周以上
	金属製可とう電線管(ビニル被覆あり又はなし)	呼び101以下(長さ150以上) 端部が露出する場合、熱膨張シートを1周以上巻き付け 壁:片側または両側、床:床上側
貫通物	波付硬質ポリエチレン管	FEP100以下 FEP40以下 :熱膨張シート1周以上 FEP65以下 :熱膨張シート2周以上 FEP100以下:熱膨張シート3周以上
施工方法		1 貫通物に熱膨張シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックが重なる位置に巻き付ける。 2 貫通物、熱膨張シートの形状に合わせて耐火ブロックを充てんする。 3 小さな隙間には補助充填材を充てんし施工完了。

単位:mm



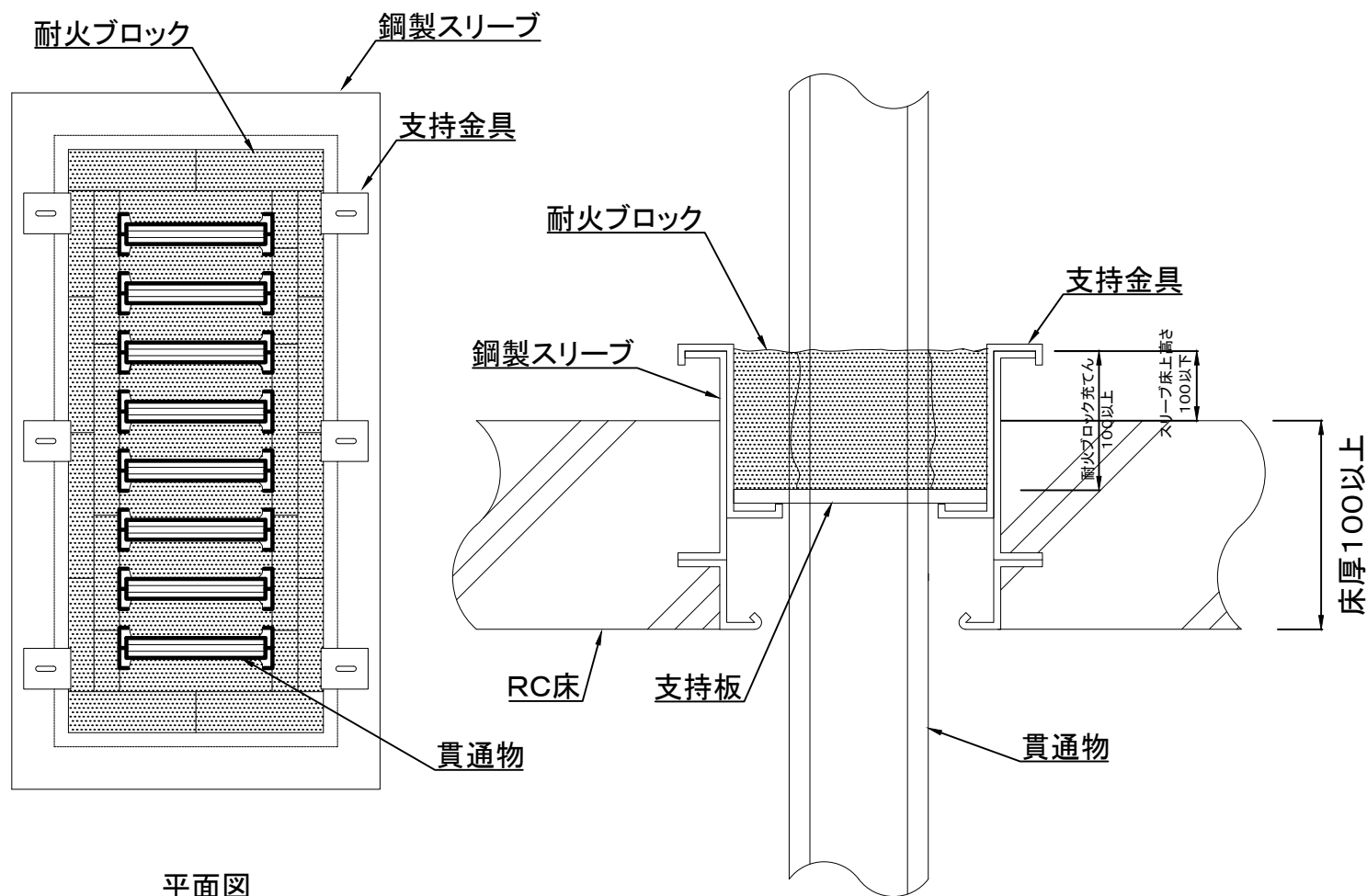
項目		仕様
国土交通大臣認定番号		PS060WL-0756
貫通する壁の構造等		中空間仕切り壁、ECP壁 厚さ60以上 ※中空間仕切壁は、壁厚100を超える場合、要開口補強棒設置
開口部	形状	矩形(角穴)
	面積	0.75㎡以下
占積率		38.4%以下
熱膨張シート		ロクマルシート
貫通物	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)	1,600mm ² (6,600V)以下
	鋼製電線管	呼び104以下(長さ150以上) 端部が露出する場合、熱膨張シートを1周以上巻き付け 壁:片側または両側、床:床上側
	合成樹脂製可とう電線管	PF・CD54以下 PF・CD28以下:耐火ブロックのみ PF・CD42以下:耐火ブロック+熱膨張シート1周以上 PF・CD54以下:耐火ブロック+熱膨張シート2周以上
	金属製可とう電線管(ビニル被覆あり又はなし)	呼び101以下(長さ150以上) 端部が露出する場合、熱膨張シートを1周以上巻き付け 壁:片側または両側、床:床上側
	波付硬質ポリエチレン管	FEP100以下 FEP40以下:熱膨張シート1周以上 FEP65以下:熱膨張シート2周以上 FEP100以下:熱膨張シート3周以上
施工方法		1 壁厚が100を超える場合、開口補強棒を設置する。 2 貫通物に熱膨張シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックが重なる位置に巻き付ける。 3 貫通物、熱膨張シートの形状に合わせて耐火ブロックを充てんする。 4 小さな隙間には補助充填材を充てんし施工完了。

単位:mm



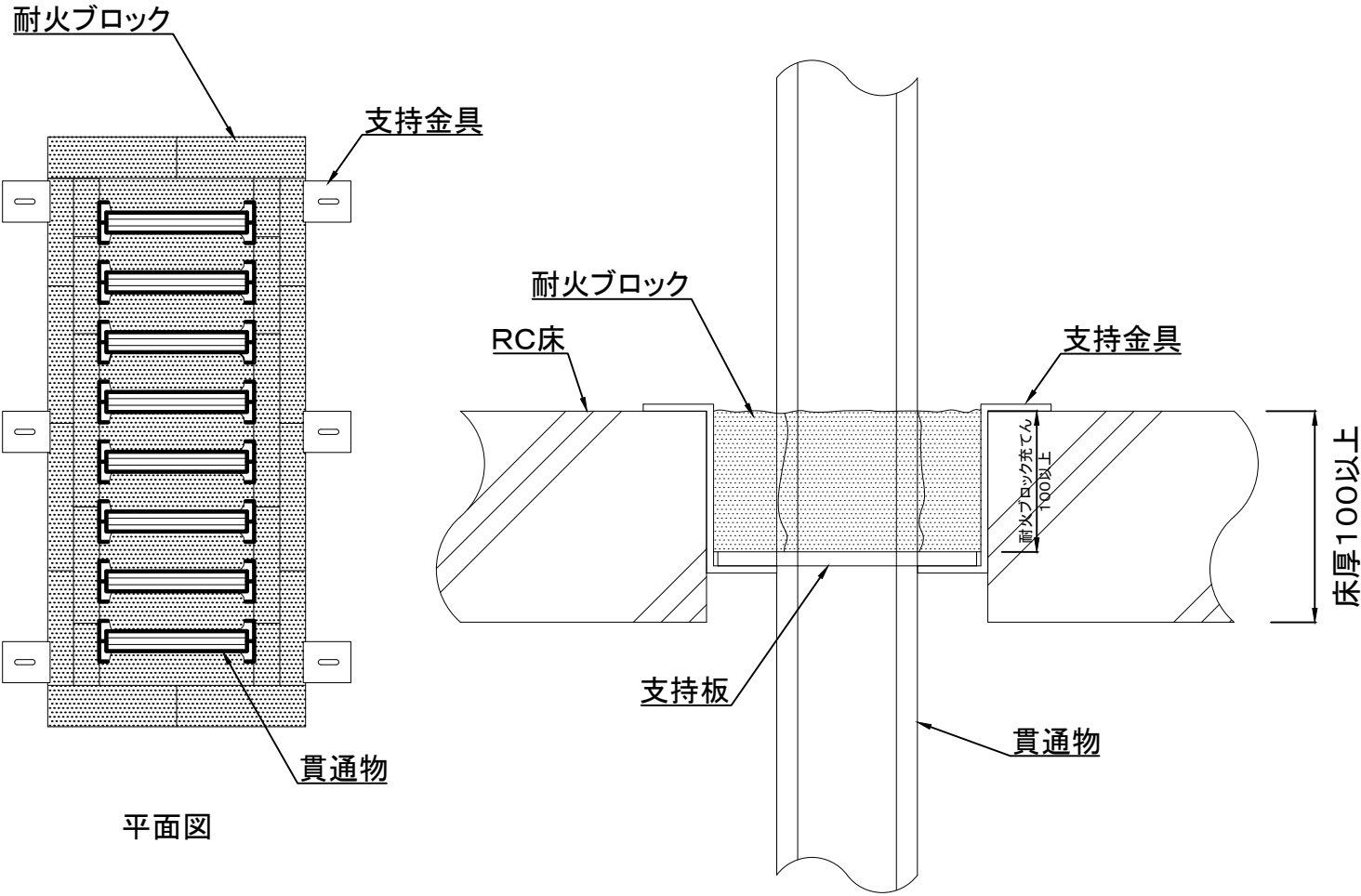
項目		仕様
国土交通大臣認定番号		PS060WL-0756
貫通する壁の構造等		中空間仕切り壁、ECP壁 厚さ60以上 ※中空間仕切壁は、壁厚100を超える場合、要鋼製補強棒設置
開口部	形状	矩形(角穴)
	面積	0.75㎡以下
占積率		38.4%以下
熱膨張シート		ロクマルシート
貫通物	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)	1,600mm ² (6,600V)以下
	鋼製電線管	呼び104以下(長さ150以上) 端部が露出する場合、熱膨張シートを1周以上巻き付け 壁:片側または両側、床:床上側
	合成樹脂製可とう電線管	PF・CD54以下 PF・CD28以下:耐火ブロックのみ PF・CD42以下:耐火ブロック+熱膨張シート1周以上 PF・CD54以下:耐火ブロック+熱膨張シート2周以上
	金属製可とう電線管(ビニル被覆あり又はなし)	呼び101以下(長さ150以上) 端部が露出する場合、熱膨張シートを1周以上巻き付け 壁:片側または両側、床:床上側
	波付硬質ポリエチレン管	FEP100以下 FEP40以下 :熱膨張シート1周以上 FEP65以下 :熱膨張シート2周以上 FEP100以下:熱膨張シート3周以上
施工方法		1 壁厚が100を超える場合、開口補強棒を設置する。 2 貫通物に熱膨張シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックが重なる位置に巻き付ける。 3 貫通物、熱膨張シートの形状に合わせて耐火ブロックを充てんする。 4 小さな隙間には補助充填材を充てんし施工完了。

単位:mm

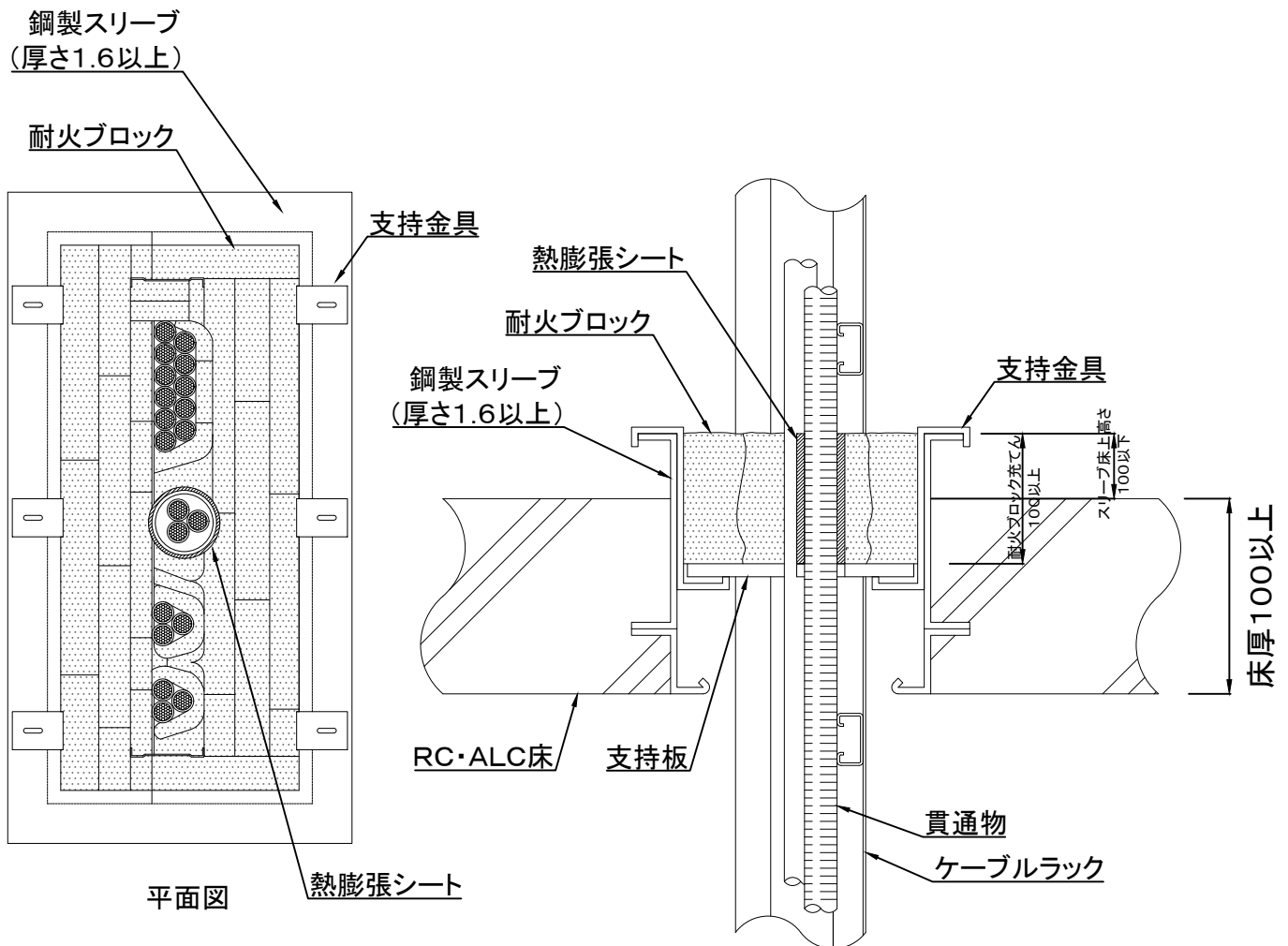


項目		仕様
貫通する床の構造等		PS060FL-0221 RC床 厚さ100以上 ※鋼製スリーブ(厚さ1.6以上)要設置、床上高さ100以下
開口部	形状	矩形(角穴)
	面積	0.6㎡以下
占積率		22%以下
貫通物	バスダクト(1枚あたりの導体断面積)	3,000mm ² 以下
施工方法		1 開口に鋼製スリーブを設置する。 2 支持板を貫通物の形状に合わせて切断後、鋼製スリーブに支持金具を設置し切断した支持板を置く。 3 貫通物の形状に合せて耐火ブロックを充てんする。 4 小さな隙間には補助充填材を充てんし施工完了。

単位:mm

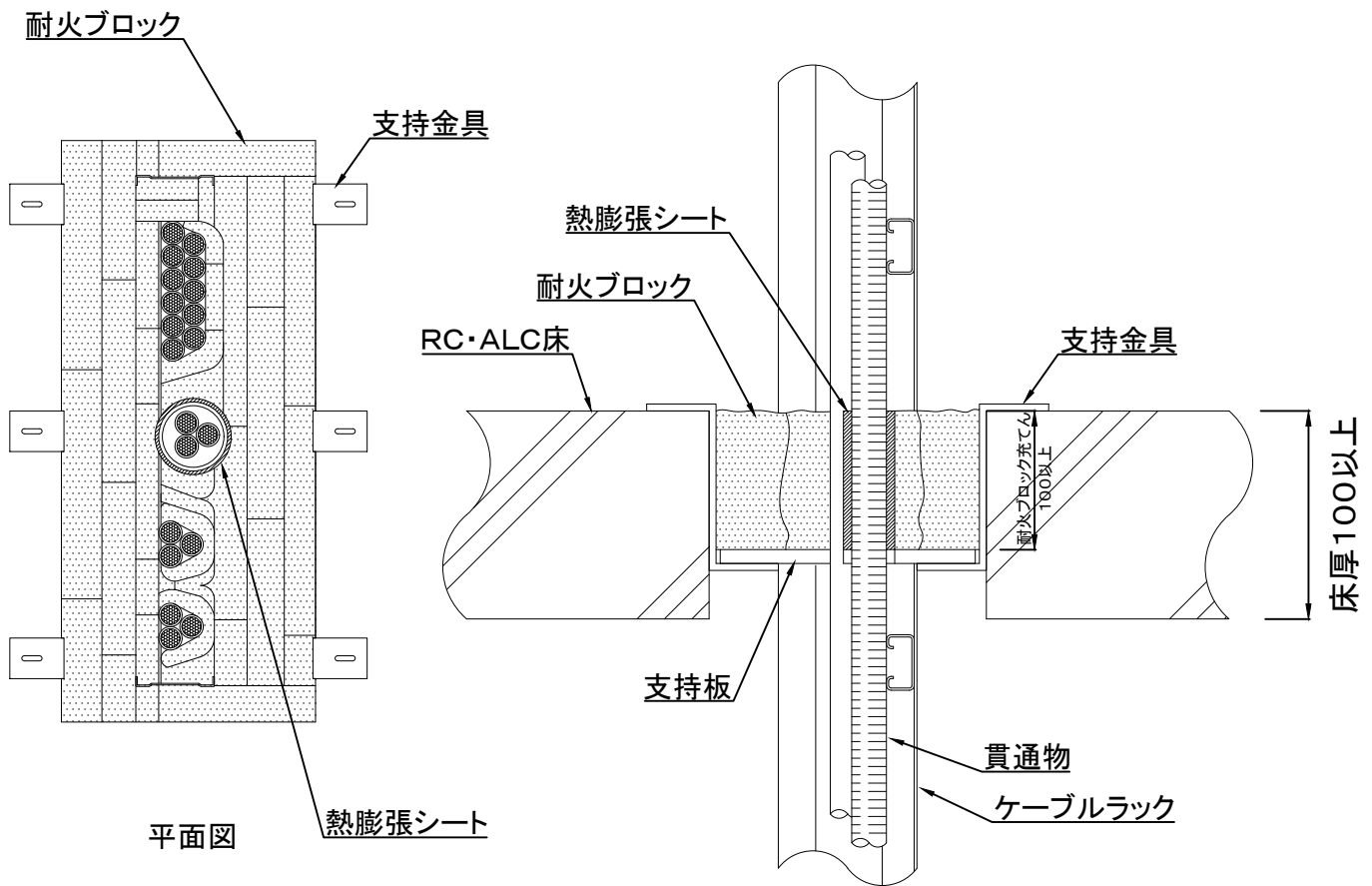


項目		仕様
貫通する床の構造等		PS060FL-0221 RC床 厚さ100以上
開口部	形状	矩形(角穴)
	面積	0.6㎡以下
占積率		22%以下
貫通物	バスダクト(1枚あたりの導体断面積)	3,000mm ² 以下
施工方法		1 支持板を貫通物の形状に合わせて切断後、支持金具を設置し切断した支持板を置く。 2 貫通物の形状に合わせて耐火ブロックを充填する。 3 小さな隙間には補助充填材を充填し施工完了。



項目		仕様
国土交通大臣認定番号		PS060FL-0772
貫通する床の構造等		RC・ALC床 厚さ100以上 ※鋼製スリーブ(厚さ1.6以上)要設置、床上高さ100以下
開口部	形状	矩形(角穴)
	面積	0.75㎡以下
占積率		38.4%以下
熱膨張シート		ロクマルシート
貫通物	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)	1,600mm ² (6,600V)以下
	鋼製電線管	呼び104以下(長さ150以上) 端部が露出する場合、熱膨張シートを1周以上巻き付け 壁:片側または両側、床:床上側
	合成樹脂製可とう電線管	PF・CD54以下 PF・CD28以下:耐火ブロックのみ PF・CD42以下:耐火ブロック+熱膨張シート1周以上 PF・CD54以下:耐火ブロック+熱膨張シート2周以上
	金属製可とう電線管(ビニル被覆あり又はなし)	呼び101以下(長さ150以上) 端部が露出する場合熱膨張シートを1周以上巻き付け 壁:片側または両側、床:床上側
	波付硬質ポリエチレン管	FEP100以下 FEP40以下:熱膨張シート1周以上 FEP65以下:熱膨張シート2周以上 FEP100以下:熱膨張シート3周以上
施工方法		1 開口に鋼製スリーブを設置する。 2 支持板を貫通物の形状に合わせて切断後、鋼製スリーブに支持金具を設置し切断した支持板を置く。 3 貫通物に熱膨張シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックが重なる位置に巻き付ける。 4 貫通物、熱膨張シートの形状に合せて耐火ブロックを充てんする。 5 小さな隙間には補助充填材を充てんし施工完了。

単位:mm



項目		仕様
国土交通大臣認定番号		PS060FL-0772
貫通する床の構造等		RC・ALC床 厚さ100以上
開口部	形状	矩形(角穴)
	面積	0.75㎡以下
占積率		38.4%以下
熱膨張シート		ロクマルシート
貫通物	電線・ケーブル(1本あたりの導体断面積)	1,600mm ² (6,600V)以下
	鋼製電線管	呼び104以下(長さ150以上) 端部が露出する場合、熱膨張シートを1周以上巻き付け 壁:片側または両側、床:床上側
	合成樹脂製可とう電線管	PF・CD54以下 PF・CD28以下:耐火ブロックのみ PF・CD42以下:耐火ブロック+熱膨張シート1周以上 PF・CD54以下:耐火ブロック+熱膨張シート2周以上
	金属製可とう電線管(ビニル被覆あり又はなし)	呼び101以下(長さ150以上) 端部が露出する場合熱膨張シートを1周以上巻き付け 壁:片側または両側、床:床上側
	波付硬質ポリエチレン管	FEP100以下 FEP40以下:熱膨張シート1周以上 FEP65以下:熱膨張シート2周以上 FEP100以下:熱膨張シート3周以上
施工方法		1 支持板を貫通物の形状に合わせて切断後、支持金具を設置し切断した支持板を置く。 2 貫通物に熱膨張シートを巻く必要がある場合、耐火ブロックが重なる位置に巻き付ける。 3 貫通物、熱膨張シートの形状に合せて耐火ブロックを充てんする。 4 小さな隙間には補助充填材を充てんし施工完了。